

9月20日はバスの日



29. 9. 15

静岡県バス協会

日本バス協会では、「いつでも、どこでも、みんなのバス」をテーマに9月20日を「バスの日」として昭和62年(1987年)11月10日に定め、昭和63年からスタートし今年で30回目となり全国各地で「バスの日」にちなんだイベントを開催しております。

当協会では、日頃のバス利用に感謝するとともにこれからも一層のバス利用をお願いし、本日(9月15日)県内の主要なJR駅(静岡駅、浜松駅、三島駅、沼津駅、富士駅)において、会員各社のバスガイド、職員等(141名)が参加して啓発品(トートバッグ)を配付しました。

静岡駅では、しずてつジャストラインから高校卒業の養成運転者が接客サービス教育の一環として参加しました。また、三島駅では三島市のマスコット「みしまるくん」が広報活動に参加していただきました。

トートバッグはもらった人からの評判がよく、来年度も広報活動に活用し、バス利用者の理解を深めてまいります。協会並びに会員事業者はこれからも、輸送の安全・安心を第一に取り組んでまいりますので皆様方のバス利用をお待ちしております。



9月20日の由来

明治36年(1903年)9月20日京都市(堀川中立売(なかつちうり)~七条~祇園)において二(に)井(い)商会がバス事業開業
蒸気自動車を改造した6人乗り(幌なし)の車両で運行業
同年11月21日京都府自動車取締規則により正式許可業

